

3 種県リーグ用ガイドライン

【リーグ参加基準（制限）】

状況	対象	リーグ参加制限
37.5 度以上の発熱やせきなどの症状がある場合	選手・指導者	自宅療養（原則参加しない）
	チーム	制限なし
感染者との濃厚接触が疑われる場合	選手・指導者	2 週間の参加禁止
	チーム	2 週間の参加禁止
感染が判明した場合	選手・指導者	治癒するまで参加禁止
	チーム	2 週間の参加禁止
選手が通う学校が休校または閉鎖の場合	選手	解除されるまで参加禁止
	チーム	制限なし

※指導者にはマネージャーなど選手と接する機会のある者を含む

以下 JFA のガイドラインの抜粋です。

1 【P24】 各チーム感染対策責任者を設置する

リーグ戦参加チームは、感染対策責任者を設置し、事前、会場、事後にお互いが連絡を取り合えるようにする。

	チーム感染対策責任者
事前	<ul style="list-style-type: none"> 各チームで大会（試合日）までの選手の健康状態の管理を徹底する。 ※管理方法は各チームに一任する。提出等の必要はない。
会場 （当日）	<p>感染予防対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> メンバー表の提出（健康チェックリストの代わりにメンバー表で参加選手を管理する。メンバー表以外の選手・マネージャー等は別で参加リストを作成し、メンバー表と一緒に本部に提出する。） ※各会場主任は当日の【メンバー表】と【メンバー以外の参加リスト】を紙ベースか PDF 等データで運営担当者に送り、リーグ運営担当者はリーグが終わるまで管理する。→感染があった場合に濃厚接触者の確認等に使用されます。 緊急時の連絡体制の確認 競技場内における、感染予防行動のチーム関係者へ確認 ※保護者等の応援等への配慮も各チームで徹底してください。密になった状態での観戦や、大きな声を出しての応援等はできません。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 万が一感染者もしくは濃厚接触者が終了3日以内に確認された場合の対応 確認→大会感染対策責任者へ連絡（リーグ実施委員長）

※当日は、各会場主任はリーグ運営担当・事務局との連絡が常にとれる状態をお願いします。

2 【P25】 大会当日までの健康状況をチェックする (P34 健康チェックシート)。

- ①チェックシートを参考にしてもらって構いませんが、とても細かくなっているため、最低限、検温を各選手が実施し、風邪症状等の状態をチームに伝えること。それを受け、チーム代表者は選手の状態を確認し、参加の有無を決定すること。

	選手・チームスタッフ
事前	・日々の検温と日々の体調の記録 (毎朝検温・体調の記録を習慣にしてください。) ・緊急連絡先の確認 ・体調不良や同居の家族、身近な人に、感染を疑われる人が出た場合は、すぐに感染対策責任社に連絡し参加を控える。
会場 (当日)	・3つの密を避ける行動、咳エチケットの実行、手指消毒／手洗いを確実に 行う。大会留意事項を確実に 行う。
事後	・3日以内に具合が悪くなったら (発熱・倦怠感・味覚／異臭異常など) すぐにチーム感染対策責任社に連絡する。

3 【P26】 試合会場では感染症予防対策を徹底する (競技会会場における感染症対策)

- ①使用する会場の感染症予防対策も遵守する。
②感染症対策に使用する物品 (消毒液等) はリーグ運営費から支出する。
※各チームは消毒液を準備すること。ボトル2本までの費用をリーグ運営費から支出する (領収書の提出)。
※会場によっては使用者の名簿提出等が求められる場合がある。事前に確認する。

- ③保護者の応援等

4 【P30】 夏季における熱中症予防に向けた留意点 について

- ①試合やアップ以外は、可能な限りマスクを着用するが、野外で十分な距離があればマスクは外しても良い。

5 【P28】 運営に関わる注意事項を事前に代表者ミーティングで確認

- ①個人のボトルをピッチに配置したり、クーリングブレイクを用いるなど水分補給は確実に
行う。

- ・試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ・両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ・円陣はしない
- ・倒れた選手に手を貸さない
- ・得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない 口に含んだ水を吐かない
- ・ボトルを共有しない
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- ・タオルを共有しない ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
ベンチではマスクを着用し、会話や大声を控える。

JFA のガイドラインは詳細な内容となっています。但し、地域の実情に応じた対応も認めていますので、一般的な常識の範囲内での感染症対策をお願いいたします。今後の状態によっても緩和されるかもしれません。現段階で、リーグ事務局で JFA のガイドラインを参考に作成しております。